

わき 社協だより

2014
4/15

vol.121

編集発行：社会福祉法人 和木町社会福祉協議会
〒740-0061 山口県玖珂郡和木町和木 2-15-22
Tel: 0827-52-8644 Fax: 0827-53-2822
E-mail: wakisha@mx52.tiki.ne.jp
©印刷：有限会社広瀬印刷



「瀬戸の黒麺」 募金百貨店プロジェクトに参加

3月19日、和木町商工会内にある和木町地域振興協会（中磯利博会長）と、山口県共同募金会とのあいだで、募金百貨店プロジェクトに参加するための覚書が締結されることとなり、その調印式が、山口県共同募金会和木支会長である米本正明和木町長が出席し蜂ヶ峯公園内のハッチの家で関係者が見守る中おこなわれました。

このプロジェクトは、地域振興協会が開発した「瀬戸の黒麺」の売り上げの2パーセントを県共同募金会に寄付し、同募金会から和木支会に配分されて地元福祉のために利用される仕組みで、和木町では初めての調印となりました。（県内では58番目）

子育てサロン たんぽぽ

- 5月20日、6月17日、7月15日
（毎月第3火曜日）10：00～11：30
 - 和木2丁目第3集会所
 - 会費 100円（1家族）
- たくさんの参加をお待ちしています



平成25年度 赤い羽根共同募金運動のご報告



平成25年度 共同募金(最終実績額)

(単位:円)

募金区分	目標額	実績額	達成率(%)
A 募金	520,000	520,000	100.0
B 募金	1,640,000	1,565,384	95.5
C 募金	540,000	507,000	93.9
合計	2,700,000	2,592,384	96.0

(単位:円)

募金区分(方法別)	目標額	実績額	達成率(%)
戸別募金	1,720,000	1,701,200	98.9
法人募金	400,000	392,160	98.0
街頭募金	50,000	55,518	111.0
職域募金	100,000	90,000	90.0
箱募金	170,000	133,444	78.5
興業・その他	260,000	220,062	84.6
合計	2,700,000	2,592,384	96.0

昨年10月1日より始めました赤い羽根共同募金運動(12月1日からの歳末たすけあい募金を含む)も、12月31日をもって終了いたしました。

皆さんからよせられた、たくさんのあたたかいご支援とご協力、ほんとうにありがとうございました。この善意の募金は、地域福祉、在宅福祉サービス推進などに活用させていただきます。ここにご報告を兼ね、厚くお礼申し上げます。



平成25年度 赤い羽根共同募金(法人募金)

(単位:円)

※ 募金箱設置場所	法人名	募金額	法人名	募金額	法人名	募金額
JX日鉱日石エネルギー㈱麻里製油所	三井化学㈱	40,000	おおたけ㈱	5,000	㈱津元商店	3,000
三井化学㈱岩国大竹工場	JX日鉱日石エネルギー㈱	40,000	(有)カシヤマ総合保険	5,000	㈱ぬまご	3,000
JA山口東和木支所	安禪寺	10,000	(有)くにきよ園芸	5,000	富士プリンテック㈱	3,000
蜂ヶ峯総合公園	(有)大竹市民葬祭	10,000	㈱サントーコー	5,000	みさと鍼灸整骨院	3,000
わきあいあい苑	(有)協和建設	10,000	旬菜酒場 がつてん承知之助	5,000	村田商店	3,000
和木ゴルフ倶楽部	㈱桐田商会	10,000	㈱太昭組	5,000	杜本歯科医院	3,000
木村医院	興亜レジャー開発㈱	10,000	大陽日酸ガス&ウェルディング㈱	5,000	与田リース㈱	3,000
中村医院・中村クリニック	㈱ダイワ	10,000	㈱拓和土木	5,000	(有)和木交通	3,000
杜本歯科医院	(有)玉川	10,000	(有)田中興業	5,000	和木生花店	3,000
居酒屋 恵美	㈱田宮事務器	10,000	中谷ホールディングス㈱	5,000	ゴルフクリニック	2,000
鉄板焼き じゅう兵衛	㈱中村装業	10,000	(有)広瀬印刷	5,000	セブンイレブン岩国和木3丁目店	2,000
㈱丸久和木店	桧山事務器㈱	10,000	藤田工業㈱	5,000	田中機器商会	2,000
セブンイレブン岩国和木3丁目店	㈱ベルコ東山口	10,000	㈱ミユキエンジ	5,000	手づくり雑貨 とことこ	2,000
和木町役場	ミートセンター杉本畜産㈱	10,000	和木不動産	5,000	ふじかわボタン手芸店	2,000
和木町文化会館	養専寺	10,000	㈱大田商店	3,000	明文堂書店	2,000
和木町総合コミュニティセンター	㈱和木商事	10,000	(有)大竹葬儀社	3,000	八百秀	2,000
和木町立図書館	J A 山口東和木支所	10,000	関西保温工業㈱	3,000	㈱山口銀行	2,000
和木町社会福祉協議会	㈱高倉鉄工所	7,000	木村医院	3,000	㈱丸久〔募金百貨店〕	5,160
18箇所 募金総額 44,328円	ラグマシーン・ヒロ	6,000	㈱サントク	3,000	60社 募金総額 392,160円	
	衣料のおかさき	5,000	㈱ジュエル森脇	3,000		
	海井医科器械㈱	5,000	竹野海苔㈱	3,000		

平成25年度 赤い羽根共同募金(その他)

募金区分	内 訳	募金額
戸別募金	1,907世帯	1,701,200
街頭募金	わき愛あいフェスティバル	26,813
	和木駅	28,705
職域募金	三井化学労働組合	65,000
	JX日鉱日石エネルギー労働組合	10,000
	岩国地区消防組合	10,000
	和木町職員労働組合	5,000
箱 募 金	和木小学校	11,146
	和木中学校	9,772
	老人クラブ連合会	85,205
	その他個人・団体	27,321
興 行 其 他	チャリティゴルフ大会	8,000
	バッジ、クオカード	165,000
	募金箱設置(※)	44,328
	個人寄付	2,682
	預金利息	52
合 計		2,200,224



和木小学校

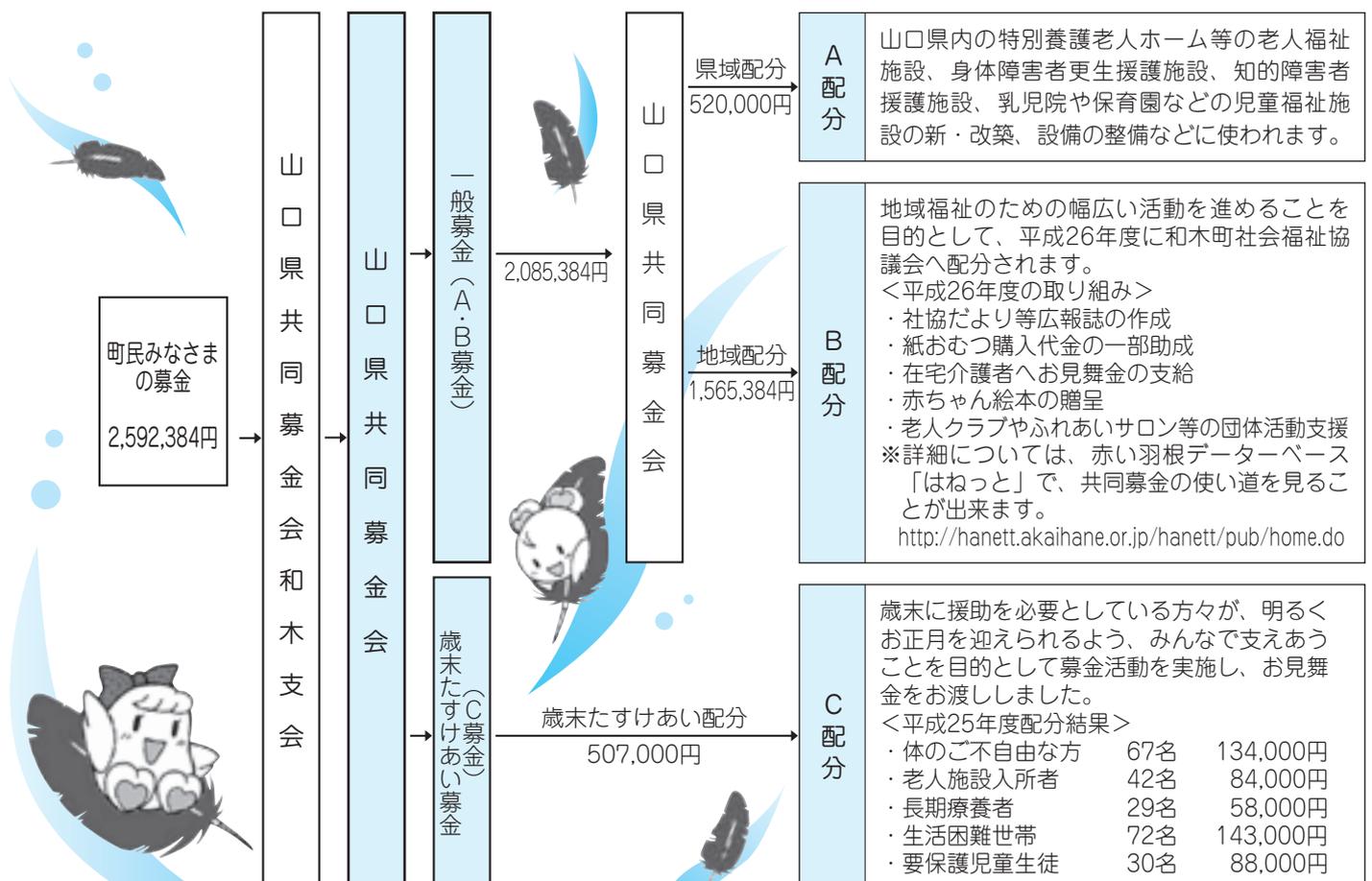


和木中学校

愛の募金

和木小学校・中学校の児童・生徒達が、募金活動を実施し、届けてくれました。こうした心あたたまる活動にご協力してくれました、児童・生徒の皆さんに、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました

共同募金配分先のしくみ



社協より、にゅ〜すをお届けします

癒しの音色も♪…

「ふれあい親睦会」

3月14日(金)、コミュニティセンター3階で、今年度の「ふれあい親睦会」が開催され52名の参加がありました。今回は「和木町キャラバンメイト」の皆さんによる、「認知症のお話」をしていただく中で簡単なゲームを取り入れて、会場全体が賑やかに。その後つくし会による手づくりのお弁当を食しながら、午後からのアトラクションは、「若国フアミリーハーモニカクラブ」の皆様による昔懐かしいハーモニカの演奏をしていただきました。ハーモニカの美しい音色とともに、参加者全員での合唱でおいに盛り上がりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。



福祉まつり開催!!

今年も「和木町福祉まつり」を6月7日(土)、総合コミュニティセンター・総合福祉会館の両会場で開催します。総合コミュニティセンターにおいては、表彰式や講演、福祉機器展示やバザー、総合福祉会館ではボランティアグループ等の活動展示や、カレーライス、クローバーの手づくりパンや飲み物、野菜などの模擬店などがあります。中でも毎年好評の「バザー」は、今年もまつりの目玉になるのではないのでしょうか。詳しくは後日、各戸にチラシを配布しお知らせします。みなさんの多数の参加をお待ちしています。



福祉農園ぼらんていあ募集

和木町社会福祉協議会では、蜂ヶ峯総合公園の入り口にあります「福祉農園」の“いちじく”や“柿”の栽培・収穫をしていただくボランティアを募集します。

軽作業につき男女・経験・年齢を問いません。農作業（特に果実）に興味のある方の応募をお待ちしております。

☆ 申込み先：和木町社会福祉協議会

☆ 申込み〆切：6月6日(金)

♪ 詳細は和木町社会福祉協議会
(☎52-8644)までお問い合わせ下さい♪





福祉の町づくり

社協会員募集 (お願い)



社会福祉法人

和木町社会福祉協議会

和木町和木2丁目15-22

☎52-8644

町社会福祉協議会は、福祉の向上・充実に努め、住みよい町づくりを目指します。福祉の推進は、みんながふれあい、おもいやりを持って、お互い助け合い、協力する心が大切です。ご協力いただく会費は、福祉をおし進める大切な財源です。

町民のみな様の温かいご理解、ご協力をお願いします。

■会員の種別と会費 (年間)

種 別	会 費	要 領
一 般 会 員	1口 600円	初めての方も、ぜひご加入下さい。何口でも結構です。
準 特 別 会 員	1口 1,000円	現在多くの人に、ご賛同を得ております。何口でも結構です。
特 別 会 員	1口 2,000円	
特別賛助会員	1口 10,000円	さらに積極的に、ご援助いただける方です。よろしくお願いします。
法 人 会 員	1口 2,000円	何口でも結構です。会社、商店の温かいご協力をお願いします。

●会費の額は昨年度と同額です。

※地区福祉員・社協職員が、5月中旬～9月下旬にお伺いしますので、ご協力をお願いします。

こんな事業を行なっています。

・地域活動支援センターの管理・運営



・赤ちゃん絵本贈呈



・給食サービス事業の実施



・共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進



・ふれあいいいききサロンの支援



・ベット・車イスの貸出し



☆元気の源は“笑い”から☆ ふれあいいいききサロンへ、ズームインっ!!

つつじヶ丘サロン

平成十二年四月からつつじヶ丘サロンとして始めましたが、地域が高齢者が少なく、昔は二十八名位いましたが、現在は十二名で楽しくやっております。

年間行事は地域包括支援センターや社協と相談して、健康診断他を行います。また、三ヶ月に一回は誕生日会を開き、カルタ取りなどをします。若いスタッフが多いので、毎回高齢者から昔のことを聞き話が弾み面白く、可笑しくやっております。



活動場所▼瀬田三丁目集会所

活動日時▼毎月第一・三水曜日

活動地区▼つつじヶ丘

代表者名▼吉岡久子

会員数▼12名

社協では、こんなことをしています

ふれあい・いきいきサロン助成

●サービス内容

自宅に引きこもりがちな高齢者のふれあい会食、レクレーション等の活動に助成する。

- 対象者 高齢者
- 実施日 月1回以上
- 利用者負担金 個人負担原則
- 備考 年間3万円、現在町内16箇所



子育てサロン助成

●サービス内容

子育て家庭の親子同士が子育てについての情報交換をしたり、悩みを分かち合ったり、また自由遊びを中心とした親子のふれあい遊びの場となる活動への助成。

- 対象者 0歳～未就学のお子様と、親、祖父母
- 実施日 月1回以上
- 利用者負担金 個人負担原則
- 備考 年間3万円、現在町内1箇所



地域福祉権利擁護事業

●サービスの内容

福祉サービス利用、お金の出し入れ、毎日の暮らしの事務手続き、重要書類や印鑑の預かりなどの手伝い等、日常生活上の判断が十分できない方々や日常生活に不安のある方々が、地域で安心して生活できるように支援する。

- 対象者 身のまわりの事が十分できなかつたり、日常生活に必要なお金の管理に不安を抱えておられる方
- 実施日 随時
- 利用者負担金 相談は無料
支援計画作成・契約後有料1回(1時間程度) = 1,870円
- 備考 <サービス利用までの流れ>
社協へ相談 → 社協の専門員が訪問 → 支援計画の作成 → 契約 → 援助の開始



災害見舞金及び特別援護資金の支給(共同募金会)

●サービスの内容

風水害、火災、その他の自然災害により死亡された方および住家を流失全壊または全焼した世帯に対して、見舞金を交付する。

- 対象者 風水害、火災、その他の自然災害により死亡された方及び下記の備考欄に該当する世帯
- 実施日 災害が発生した時、災害が発生して死亡したとき
- 利用者負担金 なし
- 備考 見舞金
死亡者…1人につき10,000円
全焼、全壊、全損、流失…1世帯につき20,000円
半焼、半壊、半損、床上浸水…1世帯につき10,000円



災害による死亡者に対する弔慰金の支給(日本赤十字社)

●サービスの内容

災害(火災・風水害)により死亡された方に対して、弔慰金を支給する。

- 対象者 住家の火災により死亡された方
風水害等の自然災害により死亡された方
- 実施日 災害が発生して死亡したとき
- 利用者負担金 なし
- 備考 弔慰金額
死亡者1名につき20,000円



災害見舞品の給付(日本赤十字社)

●サービスの内容

災害により住家が全焼、全壊、流失した被災世帯およびこれに準ずる被災世帯に対して、見舞品を贈る。

- 対象者 災害により住家が全焼、全壊、流失した被災世帯およびこれに準ずる被災世帯
- 実施日 災害が発生したとき
- 利用者負担金 なし
- 備考 毛布…世帯人員に1枚を加えた枚数
(例)世帯人員5名の場合=6枚
緊急セット…1世帯(4人)あたり1個





もちつき大会

和木保育所



一月二十四日、和木保育所にて新年の餅つき大会を開催しました。

アルミ缶ペコグループやボランティア連絡協議会の皆さんが、園児の元気な声援を受けて、おいしいお餅をつきあげました。出来上がったお餅を小さい手で「ぶにゅ」と触った時の、園児たちの笑顔に皆さん癒されています。

参加された皆さん、お疲れ様でした。

研修旅行

去る一月三十日、ボランティア連絡協議会代表者（十五名）の研修で、熊野町筆の里工房にて、筆と文字の歴史、工程、単作家の方のお話を伺いました。世界に羽ばたく化粧筆の手触りは絶品でした。

午後からは絵手紙体験、筆の持ち方、塗り方を指導して頂き、作品を家族へ郵送される方もあり、楽しい一日でした。



緊急募集!!

掲示板

“缶ペコ” ボランティア募集!!

町内のゴミ集積場近くに設置してある「アルミ缶回収箱」のアルミ缶を回収するボランティアを募集します。

内容など詳細につきましては、社会福祉協議会（☎52-8644）までご連絡ください。

再生封筒づくりの紙を回収しています。福祉会館、役場の回収箱へお願いします。

また、再生封筒づくりと一緒にする仲間を募集します。昼間お一人で過ごされている高齢者、男性、女性不問。月2回で1回の作業は2時間程度です。（清和会）

アルミ缶の回収にご協力ください。資源サイクル活動と福祉資金になります。町内の回収箱へ。（缶ペコグループ）

点訳ボランティアの仲間を募集しています。（点訳すばるの会）

リングプル（アルミ缶）を回収しています。ペットボトルにはつめず、ビニール袋や紙袋等につめて、福祉会館までお願い致します。（青い鳥）

ぼらんていあのことならボ連協へ⇒☎52-8644
（社会福祉協議会内）



輝け!! ぼらんていあ

～ 関ヶ浜地区配食グループ ～

関ヶ浜配食ボランティアは、男性2名、女性5名の計7名で、互いの都合を合わせながら行っています。「写真が苦手!」という方が多くて、今回は4名しか写っていませんがご勘弁ください。

関ヶ浜地区では毎週14、5名の配食を行っています。お弁当を届けに何うお宅からは、「ありがとう。いつもお世話になります」と言って頂き、私たちも暖かい気持ちになります。今後も未永く皆さんが健やかに暮らされることを見守っていこうと思います。また、いつも心づくしのお弁当を作っておられるつくし会の皆さんにも、私たち関ヶ浜配食ボランティアから感謝の気持ち、「ごちそうさん!」を届けたいと思います。



新しい生命



～赤ちゃん絵本のプレゼント～

H25. 10. 1～12.31までの間に産声をあげた赤ちゃん（10名）に、民生委員さんと一緒に絵本のプレゼントをしました。元気な赤ちゃんのかわいいお顔で癒されてください。



海斗(かいと)くん



千咲(ちさ)ちゃん



心葵(みあ)ちゃん



隼平(しゅんぺい)くん



明日華(あすか)ちゃん



志保(しほ)ちゃん



慶太(けいた)くん



蒼介(そうすけ)くん



遥斗(はると)くん



旭(あさひ)くん

「イクメン」「イクジイ」の写真を募集

子育て、孫育て中のイクメン、イクジイの楽しい写真を募集します。



応募要領

1. 和木町在住（どちらかでもよい）の方。
2. 写真の大きさはGLサイズとし裏に住所、氏名、電話番号を記入
3. 提出は和木町社会福祉協議会へ持参（郵送可）（和木町和木2丁目15-22）
4. 締め切りは5月20日(火)
応募者全員に粗品を進呈します。
5. 作品は6月7日(土)開催の「和木町福祉まつり」会場にて掲示します。

問合せ▶和木町社会福祉協議会（☎52-8644）まで

問い合わせ先
和木町社会福祉協議会
TEL (0827)521-8644
FAX (0827)531-2822

までお願いします。

「意見・感想」の募集

◎より充実したわき社協だよりをお届けする為に、紙面について皆さんのご意見やご感想を募集します。おもしろかった記事や、こうしてみては？等、皆さんの声をお届け下さい。また、社協だよりに掲載したい記事や写真も受け付けておりますので、合わせてご連絡ください。

◎わき社協だよりに掲載した写真を無料で差し上げます。ご希望の方は社会福祉協議会(02-86644)までご連絡ください。

掲載写真差し上げます

寄付のお礼

(平成26年1月1日から3月31日現在 順不同)

3月	村川 愛子様(和木)	3月	藤本 高士様(和木)
2月	宮中 豊様(和木)	2月	和木町商工会様
2月	松並 基成様(和木)	2月	山口県東部ヤクルト販売様
2月	中田 修一様(関ヶ浜)	1月	香典返し
2月	末岡 恭子様(瀬田)	1月	中村 拓男様(和木)
2月	三井 幸枝様(和木)	1月	榎本 敏夫様(和木)
指定寄付		2月	匿名様
1月		1月	一般寄付



社会福祉協議会に、上記の方からご寄付をいただきました。ご厚情に対して厚くお礼申し上げます。

この浄財は、和木町内の地域福祉事業を推進するために、有意義に活用させていただきます。なお、社会福祉協議会では、香典のお返し、お見舞い返し、チャリティー等のご寄付を常時受け付けております。

※「社会福祉協議会」へのご寄付は、所得税の控除対象となる寄付金に指定されています。

あしあと

先日の伊予灘地震。和木町では震度4を観測したようで、とてもびっくりしました。強い揺れで目が覚め、長いあいだ揺れていたように感じました。

翌日には「ふれあい親睦会」があり、送迎車の中でも、対象者であるひとり暮らしの方々は「怖くて動けなかった」、「大声を出したつもりでも声が出ないくらい怖かった」など、地震が深夜だったこともあり、あたりは暗く、恐怖心がとてもあったと言われていました。

東日本大震災から約3年が経った時期に起きたこの伊予灘地震。実際に大きな災害となった場合に、災害時の要援護者への対応などを改めて考えられました。

(画)